

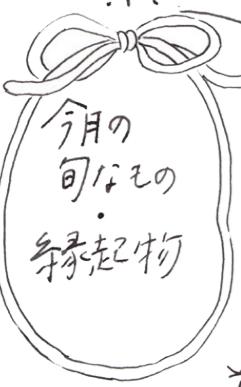
# 高田耕造商店の 物語通信

2024年9月号 (vol'29)



失日、種採り野菜を栽培している友人の野菜を久しぶりに食べました。ずっと食べたかったので野菜を見た時涙が出来ました。(笑)  
どの野菜も溢れそうなほど生命力に満ちていて、びっくりする程美味しいです。  
さあさあ今日はどう料理されたい? (笑) 毎日野菜と会話をします。

体も心も喜んでいる最近の年です。  
みじかレジ添つた料理はできません(笑)



今月の  
旬な物  
お見せ物

暑い日が続き過ぎて、今年はいいよ秋が  
来ないんじやないかな? と心配して  
おりましたが...ようやく朝晩は  
だいぶ過ごしやすくなった気がします。  
そんな秋の気配を感じる頃、

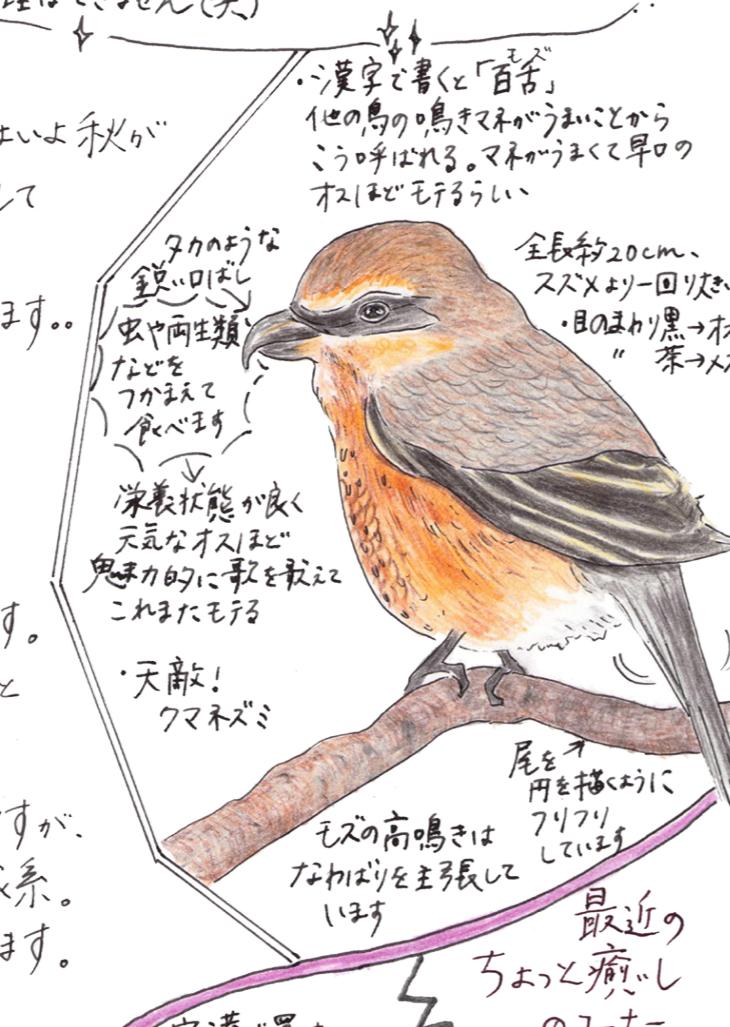
どうからともなく鋭い声が。  
"ギュルギュル、キーキー、キリキリ!" なんだか  
色々な言葉を使って喋ってみたい。

その声の主は日本に秋を告げる鳥、「モズ」です。  
この時期のモズの鳴き声は「モズの高鳴き」と  
呼ばれ、秋の風物詩として知られています。

はよと見もふもふっとしてとてもカわいらしいのですが、  
実はタカのような狩人的一面を持つ鋭い肉食系。  
別名「モズタカ」「スズメタカ」とも呼ばれています。

少し涼しくなった時間帯に、ちょっと外に出て  
耳をかたむけてみてください。

鳥の声や風の音、色々な自然の音を感じると、  
バガふと休まる気がしますよ~。



アヒタリ

「俺の実家秋伝の味! 全世界が泣いて驚愕する美味しいたこ焼を作った  
わ!」とお誇りをいたたいて(笑)。今日のお風に私人生初のタコパ(たこ焼ミーティ)を  
やったのー!

失輩の名前は木宝宗朗(キボウ・シユウロウ)さん。奥さまの舞子(ワシコ)さん、3歳のタ君と一緒に、材料と自慢の鉄製  
たこ焼器を持ってうちに来てくれました! 明石産のおきなたこは特別ルートで入ってくれたらしく(どんなルート?!)、  
貝からでプリップリ美味しい。ああお刺身でも食べたい(心の中の声)...と思ってたら別にお刺身用で持いてくれた!  
ティッパー!(笑) ではでは焼く前にまずはお刺身で...かんぱー!



さあいよいよみんなで焼いていくぞ! そんな中かわいすぎて目を離せなかったのがタ君。小さなエプロンをして  
気合十分(なんかやっ!)して誰かと戦てる(笑)。たこ焼を「たこあき、たこあき」と言って  
とってもかわいがるだけ。

直火で熱々になったたこ焼器に油を塗り、生地と具材(たこ、かす、紅生姜、小ねぎ)を入れたら、たぶん流れ込んだ生地を端っこから巻き込みながら形を整えて、コロコロくるくる。しかし使  
込まれた鉄だから、全然引けがない! 置いへけれどなんでも楽しいの! 焼き上がりたらソースとねぎ、玉子節をたぶん  
かけて出来上がり。では、初めての自家製たこ焼、いかだきまーす!

ハフハフあああ! うわー美味しいー!! カリッとろつとしてる~! 失輩、直火タイプのたこ焼器は火力も強く安定してるから  
外カリ、中ろづへのたこ焼が出来るんだって、こそこそと隠れてドヤ顔!(笑)

美味しい時間はあ、という間に過ぎていき、みんなで一緒に片付けをしました。今回大活躍してくれたたこ焼器、あのくぼみ  
ヒットリヒツリ! そんな形状を考えて、「土鍋洗用」のたれを使いました。

このたれは、びりつき落とすと硬い部位の毛が使われて落とすから、あまり力を入れなくて簡単に落としてくれる...

んだけどなんだかやさしい洗い場。丸いところや平面にも洗いやすい形なので、どの部分も洗いやすかったよ!

食器や他の洗い物はお手軽に洗って、最後はみんなで自家製のプリン(サクッ)! なんだと言えない  
間違えて超巨大プリンになっちゃった!(笑) を食べながらワクワク楽しい時間を過ごしました。

登場人物: 舞子... 幸福はやまや、家事はほほ、  
たかし君... 舞子の したことがないでの焼強中。  
だんなは 母は無類のたれ女子。

主人公の舞子は空空の人物です



角度が  
大きいので  
より洗い  
やすよ

ちよと  
かわい  
い毛

一

金具が  
出でないので  
洗いものを  
傷つけず、  
たれ全体  
をつかんで  
洗いやすいよ

一

一

## 舞子の家事日記

2024年9月15日(日)



